

# 十日市場団地地区

十日市場団地地区別計画推進委員会

## 地域 十日市場町（十日市場団地地区）

昭和34年から39年にかけて建てられた市営十日市場住宅を中心とした地区です。建物の老朽化に伴い、十日市場ヒルタウンとして平成3年から全面的な建替えを実施し、高層化により人口も増加しました。ヒルタウンの名称のとおり、丘陵状の地形に計画的に整備されています。

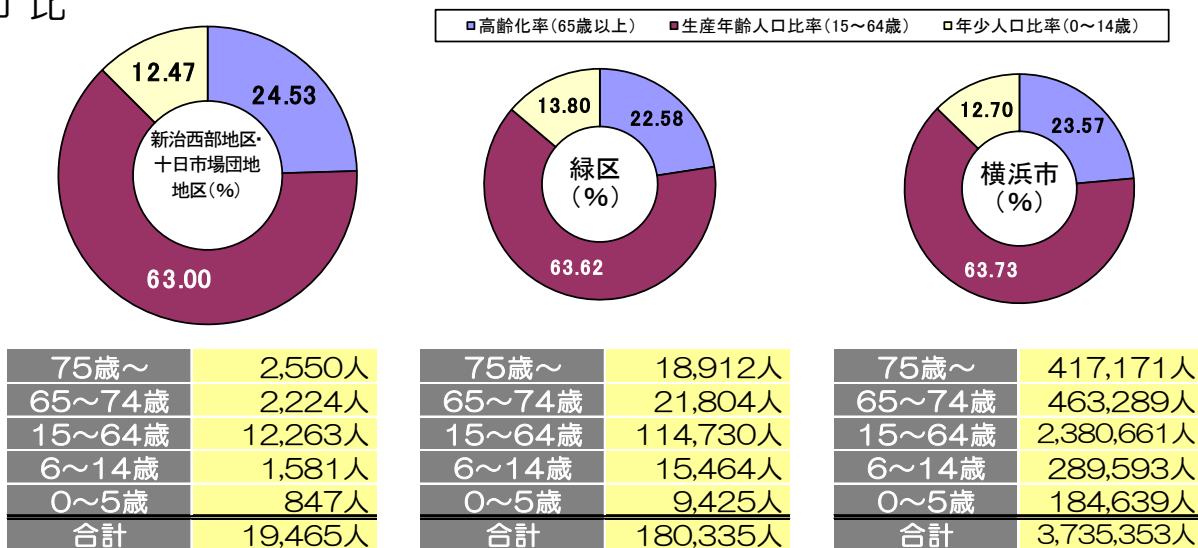
また、「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」の取組の一つとして、民間活力の導入や市有地の有効活用等について検討されています。

### <主な関連施設>

- 最寄駅：十日市場駅（JR横浜線）
- 震災時避難場所（地域防災拠点）：十日市場中学校
- 地域ケアプラザ等：横浜市十日市場地域ケアプラザ

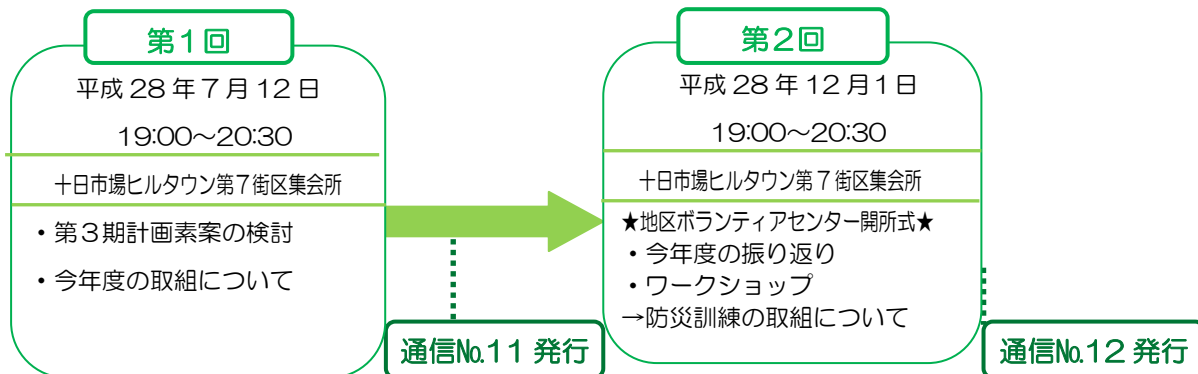
### <年齢区分別人口> 人口比

平成28年(2016年)9月末



注) 上記の人口データには、新治町、十日市場町及び長津田みなみ台7丁目のデータを集計しています。

### 地区別計画推進策定委員会の開催





# 十日市場団地地区



**地域が団結していつまでも支えあえる  
十日市場団地を目指します！**

十日市場団地地区では、『いつまでも支えあえる十日市場団地』を目指してまちづくりに取り組んでいます。

(写真：「お茶飲み会」の楽しみ名物の「手作りおやつ」など)



**「つながり」を作り、あらゆる世代の交流を  
広げています！**



『一人ぼっちにさせない！』を合言葉に開催している「十日市場団地 お茶飲み会」は4周年を迎え、ますます地域に定着してきました。

十日市場地域ケアプラザのスタッフも毎回参加し、ちょっとした相談等にも応じています。

8月と12月には、近隣保育園の園児も一緒に参加し、歌や踊りを披露するなど、多世代交流の場にもなっています。



(写真：12月「お茶飲み会」の様子)

**『ボランティアセンター』スタート！  
「手助け」してほしい人とできる人を結びつけます！**



平成27年度から準備委員会を立ち上げ、検討を進めてきた『十日市場団地ボランティアセンター』が平成28年12月にいよいよスタートしました！

サービスを通じて、住民同士の顔の見える関係づくりを進めていきます。

(写真：「地区ボランティアセンター開所式」の様子)



「十日市場団地ボランティアセンター」には、開所前から問い合わせがありました。また、自治会掲示板での呼びかけによる「お手伝い」スタッフの登録もありました。今後は、「お手伝い」と「利用者」のバランスが取れ、地域に根付いた仕組みになるよう、取組を進めていきます！

**これからも団結して地域の「つながり」を作っていきます！**

十日市場団地地区別計画推進委員会





十日市場団地地区別計画推進委員会  
平成28年8月発行 第3期 No.1 (通算 No.11)

## 十日市場団地 地区別計画推進委員会通信

### 第3期 十日市場団地地区 地区別計画が始動しました！

平成28年7月12日(火)十日市場ヒルタウン第7街区集会所において「平成28年度第1回みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画推進委員会」を開催しました。

当日は、伊藤委員長のあいさつで始まり、平成28年度から始まった第3期みどりのわ・ささえ愛プランの概要について改めて確認しつつ、第3期の十日市場団地地区の地区別計画の推進に向けて『地域での見守りや助け合い』をテーマに話し合いを行いました。

#### 3つの取組報告・紹介がありました！

1

#### 「地域での孤立を防ぐために早期に相談できる取組」について

十日市場地域ケアプラザ(地域包括支援センター)

地域内での孤立死の事例をきっかけに、ご近所で心配な方への対応や「最近見かけない人がいる」などの気づきをタイムリーにケアプラザに相談していただくため、単位自治会ごとに説明会を行い、啓発活動を行っています。

2

#### 「地区ボランティアセンター」の設立の準備状況について

橋川副委員長

全戸アンケートにより、ボランティアをしてほしい人・したい人を把握しました。平成29年1月のセンター開設に向けて、準備を進めています。

3

#### 災害時に安否を確認するための他地区での取組みなどについて

「みんなで地域を考える会」でもテーマとなった防災の取組について、他地区の集合住宅で、「無事」「要救助」のマグネットシートを玄関に貼って安否確認をしている事例や黄色いバンダナの取組をご紹介します。

ご意見の一部をご紹介します



マグネットシート▶



～『地域での見守りや助け合い』をテーマに、多くの意見が出されました～

- 災害時に、高齢者が高齢者を助けるのは限界がある。若い人の助けが必要。
- 民生委員の活動として高齢者の見守りの仕組みはあるが、「お茶飲み会」などに参加されない人たちをどうフォローし、支えていくかが課題。
- 自治会として、各家庭の実態までは把握できていない。災害時に助け合うにも、各家庭の基礎情報は必要。
- 地区別計画推進委員には、自治会長も入った方が実効性が高まる。

★裏面では、十日市場団地地区の第3期地区別計画の概要についてご紹介いたします！★





## 第3期 十日市場団地地区 地区別計画

目標1：地域が団結して、「つながり」を作り あらゆる世代の交流を広げよう

### 【具体的な取組の一例】

- 「十日市場団地お茶飲み会」を継続しながら、さらに地域の皆さんの交流を深める。
- 地域の情報ツールである「住連通信」を活用して、交流を広げていく。

目標2：連携して、「見守り」を進め いつまでも支えあえる地域を目指そう

### 【具体的な取組の一例】

- 地域の中で「手助け」して欲しい人とできる人を結びつける仕組みを検討し、取組を実施する。
- 自治会や民生委員・児童委員が協力して、個人情報保護にも留意しながら、「見守る体制」（ネットワーク）づくりを検討していく。

目標3：健康や交流を意識した取組を進め 地域をもっと元気にしよう

### 【具体的な取組の一例】

- 「ウォーキング」や「ラジオ体操」など、健康維持や「多世代交流」「つながり」を意識した取組を検討し、実施する。
- さまざまな人たちに「認知症」を知ってもらうため、「寸劇」を取り入れた講座など、分かりやすく理解してもらう機会をつくる。



具体的な取組の一例で、  
他にもたくさんのごと  
に取り組んでいくよ！



▲ 第1回委員会の様子

### 【平成28年度 十日市場団地地区別計画推進委員】

○推進委員会メンバーは、民生委員児童委員協議会、連合自治会、保護司会、地区社会福祉協議会、地区老人クラブ連合会、更生保護女性会、環境事業推進委員会、消費生活推進員、十日市場中学校、十日市場小学校 などから構成されています。

★伊藤利男、橋川茂子、宮本増穂、百武節代、山田孝信、相田泰喜、古田三郎、川村武子、小山秀夫、羽島節子、石川多美、大村律子、輿石勝子、田中正人、落合良子、塙喬子、堀川智子、川隅やす子、古屋紀美代、上園フミ、白田邦彦、平井仁女、山口等、栗原保恵、本田富男、八木範夫、大木巧、三好真理子、宮入直子 （敬称略、順不同、★：委員長）

次回の委員会は  
平成28年11月に開催予定です！

みんなで力を合わせて

いつでも支えあえる十日市場団地  
を目指しましょう！

<連絡先>

十日市場団地地区別計画推進委員会  
事務局 緑区こども家庭支援課内  
TEL：930-2332



十日市場団地地区別計画推進委員会

平成29年3月発行 第3期 No.2 (通算No.12)



## 十日市場団地 地区別計画推進委員会通信

28年12月1日(木)十日市場ヒルタウン第7街区集会所において、「平成28年度第2回みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画推進委員会」を開催しました。

『一人ぼっちにさせない』を合言葉に「お茶飲み会」が発足して4年経ち、顔の見える関係づくりが進んでいます。地域の見守りと支え合いの気持ちを形にし、具体的な仕組みにつなげるため、ボランティアセンター設立の検討がなされてきました。そして12月1日、発足の運びとなり、委員会の開会に先立って、発足セレモニーを行いました。



▲ 発足セレモニーの様子

委員会では、今年度の取組を確認するとともに、第3期計画の推進に向けての意見交換を行い、今後の方向性を確認しました。ここでは特に、安全・安心の地域づくりという視点から、災害時の助け合いをテーマとして次の2つの面から意見交換が行われました。

【具体的な意見】

- 「地域として必要な備えについて」
  - ・地域が主体で地域防災拠点運営していくが、拠点訓練の受付を経験してみて、きちんと準備をして受付を行わないと混乱することがわかった。
  - ・HUG訓練を実施していたが訓練当日は混乱した。避難所の区分けを事前に決めておくべき。 ※HUG：「避難所運営ゲーム」の略
  - ・要援護者の名簿について、事前に把握できることが望ましい。
  - ・家庭での備蓄の必要性を周知していく必要がある。
- 「地域としての安否確認の方法について」
  - ・お体の状態などで一斉清掃に参加できない方を把握しているので、この情報を災害時に活かさないか。
  - ・マグネット(無事・要救助)を活用した安否確認方法は、課題はあるが有効。
  - ・地域が主体で安否確認を行うが、可能な範囲で中学生の若い力を借りたい。そのためにも、災害時だけ頼るのではなく、普段から地域として中学生に何ができるのかを考える必要がある。

■ 『災害時の助け合いの仕組みづくり』を検討するため、自治会長・地域防災拠点運営委員会委員にも参加頂きました。

○自治会長：古川十三雄、吉田貞雄、花房靖征、三好一明、山口等、浅井金二郎、橋本正夫、神長敏博、高田猪久男、久保田サチ子

○地域防災拠点運営委員会委員：寺地信彦、阿部憲五 (敬称略)



## 第3期 十日市場団地地区 地区別計画

目標1：地域が団結して、「つながり」を作りあらゆる世代の交流を広げよう

【具体的な取組の一例】

- 「十日市場団地お茶飲み会」を継続しながら、さらに地域の皆さんとの交流を深めていく。
- 災害など、いざというときに助け合えるような「顔の見える関係」を日頃からつくる。
- 地域の情報ツールである「住連通信」を活用して、交流を広げていく。

目標2：連携して、「見守り」を進め いつまでも支えあえる地域を目指そう

【具体的な取組の一例】

- 地域の中で、手助けして欲しい人とできる人を結びつける仕組みとしての「ボランティアセンター」が、平成28年12月から発足した。
- 災害時に支援が必要な人を支援するための仕組みを検討していく。
- 自治会や民生委員・児童委員が協力して、個人情報保護にも留意しながら、「見守る体制」(ネットワーク)づくりを検討していく。



目標3：健康や交流を意識した取組を進め 地域をもっと元気にしよう

【具体的な取組の一例】

- 「ウォーキング」や「ラジオ体操」などによる健康維持や、「多世代交流」「つながり」を意識した取り組みを検討していく。
- さまざまな人たちに「認知症」について正しく理解してもらうため、「寸劇」を取り入れた認知症サポーター養成講座を、十日市場中学校の中学生などに向けて実施している。

～次年度に向けて～

- ・地域での見守りと支え合いを推進するために、ボランティアセンターの充実と、気軽に参加できる「お茶飲み会」の開催を引き続き進めていきます。
- ・地域防災拠点の運営や安否確認の方法など、災害時の助け合いの仕組みづくりについて、具体的な検討を行っていきます。

○平成28年度十日市場団地地区別計画推進委員会メンバーは、民生委員児童委員協議会、連合自治会、保護司会、地区社会福祉協議会、地区老人クラブ連合会、更生保護女性会、環境事業推進委員会、消費生活推進員、十日市場中学校、十日市場小学校 などから構成されています。

★伊藤利男、橋川茂子、宮本増穂、百武節代、山田孝信、相田泰喜、古田三郎、川村武子、羽島節子、石川多美、大村律子、田中正人、塙喬子、堀川智子、川隅やす子、古屋紀美代、白田邦彦、平井仁女、山口等、栗原保恵、本田富男、八木範夫、大木巧、三好真理子、宮入直子、長崎清美、山内ユミ子、鈴木雄二、尾崎敏明、平良美枝子、上園フミ (敬称略、順不同、★：委員長)

みんなで力を合わせて  
いつでも支えあえる十日市場団地  
を目指しましょう!



<連絡先>  
十日市場団地地区別計画推進委員会  
事務局 緑区こども家庭支援課内  
TEL：930-2332